

令和2年度地域密着型特別養護老人ホーム桐の花事業報告書

桐の花の事業運営については、入居者の方々が住み慣れた地域でこれまでの生活を継続し、家庭的な雰囲気の中で、可能な限り自立した日常生活を送れるよう、入居者一人ひとりのプライバシーや尊厳を重視し、施設サービス計画に基づき個別ケアの実践に努めました。また、地域社会に開かれ、地域に根ざした施設の運営を行うことが、地域密着型施設としての大切な役割であるとの認識をもって取り組みました。

ただし、全国的な新型コロナウイルス感染症のまん延により、施設内でのゾーニングを踏まえた感染対策を行う必要があるため、ユニットを超えた交流の機会は中止せざるを得ないこととなりました。加えて、地域及び地域住民との関わりの機会はその通りですが、家族との面会もできない状況で経過しました。その上で、入居者の生命を守ること、職員の日頃からの感染リスクを避けることの対応と対策に徹しました。

1 事業の概況

(1) 事業種類

ユニット型地域密着型介護老人福祉施設

(2) 事業規模

定員 29名 ユニット区分〔こもればい10名・ぬくもり9名・やすらぎ10名〕

2 事業の実施状況

(1) 生活支援

① 食事

食は健康と楽しみという重要な位置を占めるものであることから、楽しんで食事ができ、かつ、個々の状況に応じた栄養管理をもって、より健康に過ごせるよう努めてきました。また、ユニット内でご飯・味噌汁を作ることにより、食事を準備する音や匂いで家庭的な雰囲気を演出したり、入居者に盛り付けや下膳の手伝いをしていただくことにより、入居者の生きがいの創出ができるよう取り組みました。食事の際の感染対策としては、スペースの確保やテーブルにパネルを設置して、飛沫感染を防止する対策を行いました。

② 入浴

入浴回数は一人につき週2回行い、さらに本人の希望により入浴できるよう毎日入浴を実施しました。また、個浴での対応を基本として、プライバシーに配慮し、ゆっくり入浴を楽しんでもらえるよう心掛けました。個浴での対応が困難な方においては特別浴にて対応し、移乗の際は2人介助で対応するなど、安全に安心して入浴ができるよう努めました。体調不良などで入浴できない時は清拭を行うことで衛生保持に努めました。

③ 排泄介助

排泄リズムの把握をし、一人ひとりに合った排泄介助の検討を行い、入居者がより快適に過ごすことができるよう努めました。

④ 自分らしい生活

一人ひとりの生活のリズムを大切に、本人の意向を確認しながら支援に努めました。また、入居者が自由で自分らしい生活を送れるよう、個々に応じた支援やこまめな声掛けに努めました。

⑤ 施設内行事・余暇活動

感染対策を重視するため、規模の大きい行事は中止とし、ユニット全体での活動や交流

については自粛しました。その上で、基本的な感染対策を講じて、ユニット毎での余暇活動を行い、身近な関係性で楽しみある生活を送れるよう努めました。

⑥ 身体拘束ゼロ

身体拘束から起こるリスクの重大さを知り、「身体拘束を行わないのは当然である」という認識のもとでケアに取り組みました。また、やむを得ず身体拘束を行うケースにおいては、定期的な検証と経過観察をして対応することに努めました。

⑦ 事故防止・リスク軽減

施設内で起こりうる事故を未然に防ぐために、利用者のアセスメントに基づく対応を定期的な会議で検討をしました。また、発生した事故については、関係職員による検証を速やかに行い、再発防止策を検討し、日々の生活における事故及びリスクの軽減に取り組みました。

(2) 個別支援の充実

アセスメントから得た重点的なケアや個別性のあるサービスを提供できるよう、定期又は随時のサービス担当者会議をもち、入居者家族と多職種間の連携をもって取り組んできました。

(3) 健康管理

入居者一人ひとりが心身ともに健康で充実した日常生活が送れるよう、定期バイタルの測定、嘱託医師による回診（週1回）、健康診断（年1回）、歯科検診（年1回）、口腔ケア指導（週1回）を実施して健康管理を行いました。また、年間を通じて、新型コロナウイルス感染症への対策が必要であったため、検温の機会を増やし、かつ、新型コロナウイルス感染症に類似する症状の早期発見に努めました。加えて、職員は1日3回の体温の計測と健康状態の観察及び私生活においては不要不急の外出の自粛をもって感染症対策に取り組みました。

(4) 生活環境への配慮・衛生管理

居室は、プライベートスペースとして気兼ねなくゆっくり過ごしていただけるよう配慮するとともに、入居者同士の交流の場やご家族の方とのひととき場としてセミパブリックスペースを設け、入居者に適した生活環境の整備を図りました。また、冬期間にお湯を使う量が増えると給湯に不具合が生じることから、機器を設置して改善を図りました。入居者の面会については、感染対策を重視することから例年のように対面で行うことがあまりできませんでした。コロナ禍の面会方法では、ご家族に面会のマニュアルを示し、感染対策に協力をいただきました。ただし、通年で実施できるオンライン面会を導入しました。ただし、オンライン面会の初年度は、あまり普及には至りませんでした。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策としての県の支援事業があり、感染対策のための消耗品や備品を購入し、日頃の感染対策に活用しました。

(5) 会議

施設の管理・運営や援助の方針の統一化を図るため、運営連絡会議、苦情解決事業連絡会議、入所検討会議、ユニットリーダー会議を開催しました。また、地域に開かれた施設運営とサービスの質の向上を目的に、地域代表者等を委員とする運営推進会議は、宮古市の感染症対策の方針に準じて中止としました。よって、委員には書面を配布し、その際に意見をもらいました。

(6) 専門組織の活動

法人全体でのサービスや業務における品質管理を実施するため、安全衛生、危機管理、感染症管理、広報、職員研修、サービス向上の各委員会を構成し、事業所を超えた連携をもって活動しました。また、本体施設の紫桐苑との連携・協働をもってリスクマネジメント全般の検討や対策を講じてきました。なお、各会議の実施においても、参加者を限定するなど、三密を回避して感染対策を講じながら取り組みました。

(7) 職員研修

新型コロナウイルス感染症対策のため、外部機関の研修開催は大幅に減りました。また、本会の感染症対策の方針に則り、外部への研修参加を通年で自粛しました。なお、内部での研修については、感染対策を重視したやり方を検討し、全員の参加型から、資料配布やネット環境を活用するなどして、個別学習型での取り組みを行いました。日数等も要することから、研修の回数は例年よりもかなり減少しました。

実施月	研修区分	概要
9	内部研修	第1回職員スキルアップ勉強会「コンプライアンスと職業倫理及びパワーハラスメント」
9	内部研修	従事者研修「新型コロナウイルス感染症対策」
10	内部研修	第2回職員スキルアップ勉強会「身体拘束廃止と認知症」
11	内部研修	第3回職員スキルアップ勉強会「実践で学ぶ吐物処理」
1	内部研修	第4回職員スキルアップ勉強会「介護記録の書き方」
3	内部研修	従事者研修「身体拘束について」

※研修は一定の期間で実施

(8) 防災対策

災害発生時に入居者と職員が一体となって行動がとれるように防火・防災対策、水害・土砂災害対策を計画し、夜間・日中を想定した避難訓練等を実施しました。

実施日	概要
6 4	消防設備保守点検
7 10	第1回自衛消防訓練（自然災害、消火設備確認）図上訓練、職員のみ
12 10	消防設備保守点検
3 23	第2回自衛消防訓練（夜間の火災）避難・消火・通報訓練 宮古消防署新里分署立会い

(9) 交流・ボランティアの受入れ

新型コロナウイルス感染症対策を重視することから、外部との交流、ボランティア及び実習の受入れは中止しました。また、地域開放としての取り組みである会議室や地域交流スペースの開放も中止としました。

実施日	団体名	区分	主な活動内容
7 17	宮古市立新里小学校	交流	新里太鼓披露
9 9	宮古市立新里中学校	職員派遣	福祉学習の講師派遣

3 利用者の状況

(1) 年齢状況

区 分	~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	計
男	0	0	0	2	1	2	0	0	0	5
女	0	0	0	0	3	6	7	7	1	24
計	0	0	0	2	4	8	7	7	1	29
比率 (%)	0.0	0.0	0.0	6.9	13.8	27.6	24.1	24.1	3.4	100.0
平均年齢〔男性 82 歳、女性 90.9 歳、全体 89.4 歳〕 最高年齢 101 歳 最低年齢 76 歳										

(2) 在所期間状況

区 分	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	計
男	0	0	2	3	5
女	5	5	6	8	24
計	5	5	8	11	29
比率 (%)	17.2	17.2	27.6	37.9	100.0
平均在所期間〔男性 5 年 10 ヶ月、女性 4 年 1 ヶ月、全体 4 年 4 ヶ月〕 最高在所期間 男性 8 年 女性 8 年					

(3) 入退所状況

区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新 規 入 所 者 数	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	5
退 所 者 数	男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	4
月 末 在 所 者 数	男	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	—
	女	22	23	23	22	23	23	23	24	24	24	24	24	—
	計	28	29	29	28	28	28	28	29	29	29	29	29	—
退所者の平均在所者数〔4 年 11 ヶ月〕														

(4) 入所前の状況

区 分	男	女	計
自 宅	0	4	4
医療機関	0	0	0
有料老人ホ他	0	1	1
計	0	5	5

